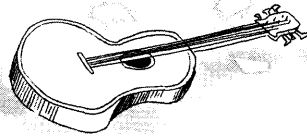


雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉



枇杷の萼の茶色

小林貴子

枇杷の花捨てたき自我のやうな色
往診の鞆の蛇腹冬の草
川音も年の湊に近づきぬ
人生はタイパにあらず薬喰
クリスマス蘭の蒼は鳩の形
亡き人へまたたくクリスマスリース
冬眠はしない花札でもするか
小春日や幽明境異にせず
小六月世尊院から発つお骨
世尊院銅の寝釈迦の良く眠る

福島米雄さん三句